

教科名〔 国語 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
国語総合 国B(古典)	2単位	1学年 1～6組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	歴史的仮名遣い、古語、古典文法など、古文学習の基礎を修得する。 日本の古典的名作を読み、固有の情緒や、描かれた文学的世界を味わう。
使用教科書・副教材等	三省堂『高等学校国語総合』 教科担当教諭作成のプリント

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1.学習活動の特記事項 2.副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」(『宇治拾遺物語』説話)「公世の二位のせうとに」(『徒然草』随筆) 古典的仮名遣い・古語の意味・古典文法の基礎・口語訳・暗誦	4 5	古典的仮名遣いについてしっかりと学習し、間違えずに読めるよう練習する。特に現代語にはない古語について、その意味を確認し、覚える。口語訳をする。説話・随筆の面白さを味わう。古文を暗誦し、古文のリズムに慣れる。		第1学期中間考查				
	「後の千金のこと」(『宇治拾遺物語』説話)「大江山」(『十訓抄』説話) 読み・古語・文法・口語訳・鑑賞・暗誦	5 6 7 8	活用語の基本形を考え、難しい古語の意味を調べる。文中によく出てくる助動詞の意味を修得する。口語訳する。主題を考え鑑賞する。古文を暗誦し、古文のリズムに慣れる。		第1学期期末考查				
第2学期	「芥川」(『伊勢物語』歌物語)読み・古語・文法・口語訳・鑑賞 漢文の返り点	9 10	難しい古語の意味を調べる。口語訳をする。伊勢の哀調を帯びた物語の世界を味わう。技巧を多用した伊勢の歌を味わう。漢文の返り点について学習する。		第2学期中間考查				
	「借虎威」(『戦国策』)	10	漢文の返り点を読めるようになる。繰り返し音読し、漢文のリズムを味わう。簡潔にして意味深い漢文の内容を味わう。短歌		第2学期期末考查				
	『論語』(漢文) 「短歌」(『万葉集』 『古今和歌集』『新古今和歌集』)	11 12	について学習し、味わう。現代にも生きている古文・漢文について学習する。						

第 3 学 期	「門出」「帰京」(『土 佐日記』日記)用言の活 用・係り結び	1 ・ 2 ・ 3	難しい古語の意味を調べる。 口語訳をす る。 文学史における日記文学の意義につい て学習する。 用言の活用を系統的に学習す る 係り結びについて学習する。		学 年 末 考 査				
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業中にとったノート。授業で使用したプリント。長期休暇中の宿題。その他折々の課題。									
【1・2・3学期における評価方法】 定期考査(約70%) 平常点(出欠・小テスト・提出物等 約30%)									